

資産形成・投資に対する考え方まとめ（マークダウン版）

1. 資産の基本的な分け方（3層構造）

- リスク資産：株式（主にインデックスファンド、将来的に個別株も検討）
- 低～無リスク資産：現金・債券（国債・債券ファンドなど）
- 運転資金：生活費・短期で使うお金（投資とは完全に切り離して管理）

2. 株式と債券の役割理解

- 株式：企業の利益・成長・世界情勢・期待が反映され、値動きは大きい長期リターンが高い
- 債券：金利と中央銀行政策が主な変動要因で、株式より値動きは小さく守りの役割
- 株と債券は完全に逆ではないが、組み合わせることで全体のブレを抑えられる

3. 年齢・フェーズに応じた考え方

- 現在28歳で、時間を最大の武器にできる
- 株式多め（例：7:3、8:2）でインデックスファンド中心の長期積立
- 将来は資産規模に応じて債券比率を増やし守り重視へ

4. 個別株・他の投資対象へのスタンス

- ハイイールド債、不動産、金、FX、商品などは今は実行せず勉強のみ
- 将来レベルが上がった時の選択肢として知識を蓄える
- 知識がない状態で手を出さない

5. 実体験からの学び

- 個別株を少額で経験し、上がった銘柄も下がった銘柄もあった
- 手数料込みでマイナスになった
- 元手が小さいうちはインデックスの方が合理的だと理解

6. 最大の投資先は自分

- 勉強・スキルアップ・転職・副業による入金力向上
- 人的資本を高めることで資産形成が加速する

7. 支出管理と感情コントロール

- 生活水準をむやみに上げない
- IF-THENプランニングで意思決定を仕組み化
- 衝動買いを防ぐ

8. 投資に対する基本哲学

- 何もしないことこそ最大のリスク（機会損失）
- ショックは必ず起きるため、予測より対応力を重視

- インデックス×積立×時間を軸に柔軟に変更